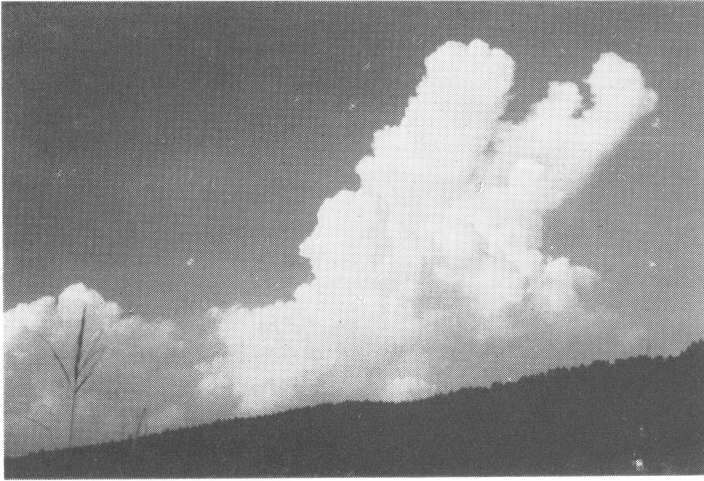


沃化鉛地上発煙による積雲の変形

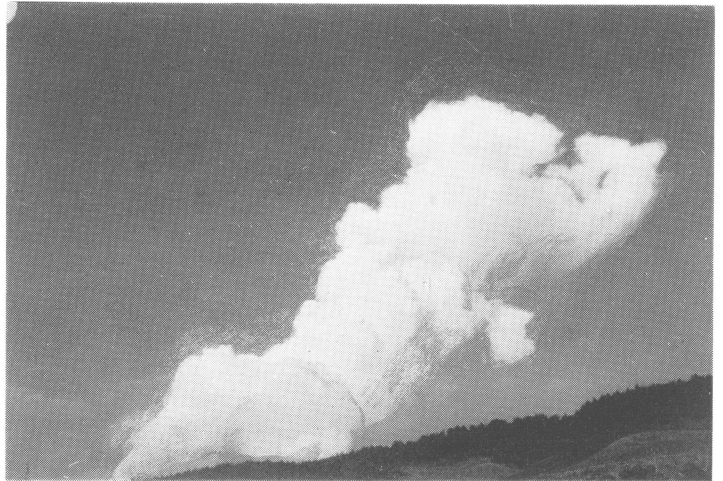


(a) 15時21分30秒

積雲が発達し雲頂が二つに分れ、上方の雲の氷晶化が始まる。このとき雲頂高度約 7,000m, 温度 -10°C .

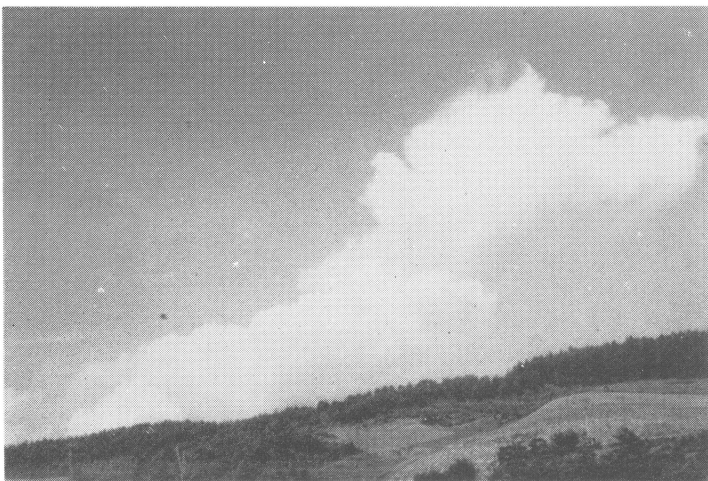
(b) 15時27分

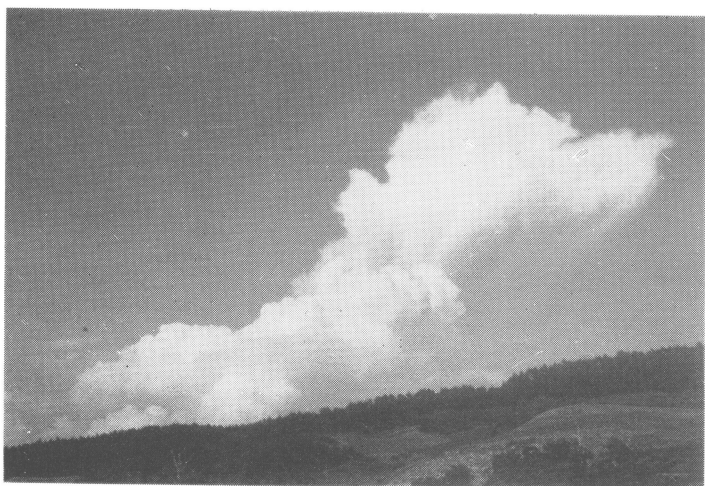
上方の積雲の氷晶化が進み、その右下から氷晶の落下が見られる。



(c) 15時31分

上方の雲全体に氷晶化が及び、氷晶の落下盛んになり、上層風により右方に移動しつつある。下方の雲は上方の雲から種蒔を受け雲頂が低下し始める。



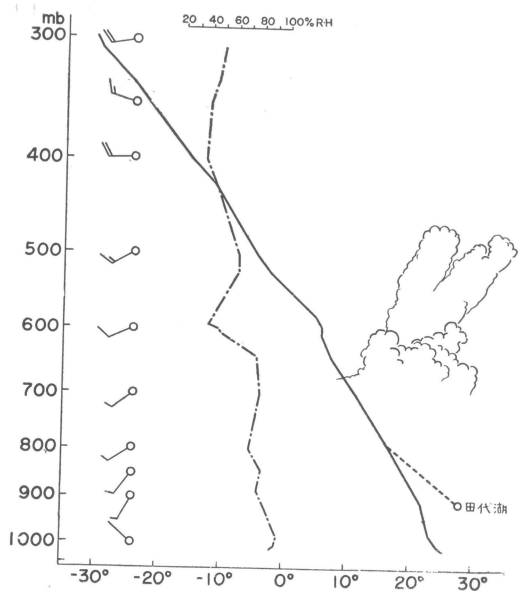


(d) 15時33分

上方の雲から種蒔された下方の雲の頂はさらに低下。

(e) 15時37分30秒

上下の2部は完全に分離し、上方の雲は片層雲状の氷晶雲となりこの後20分間存続した。下方の雲は上部が平になり衰滅の直前にある。しかし、上方から種蒔を受けない左方では新に積雲が発達しつつある。



第1図

8月27日00時の館野における状態曲線及び風向風速相對湿度。点線は田代湖における推定状態曲線。

磯野謙治氏 撮影

写真説明は193頁にあります。